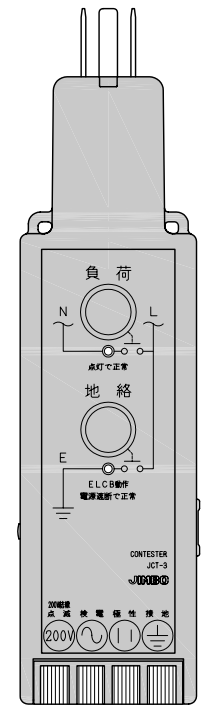


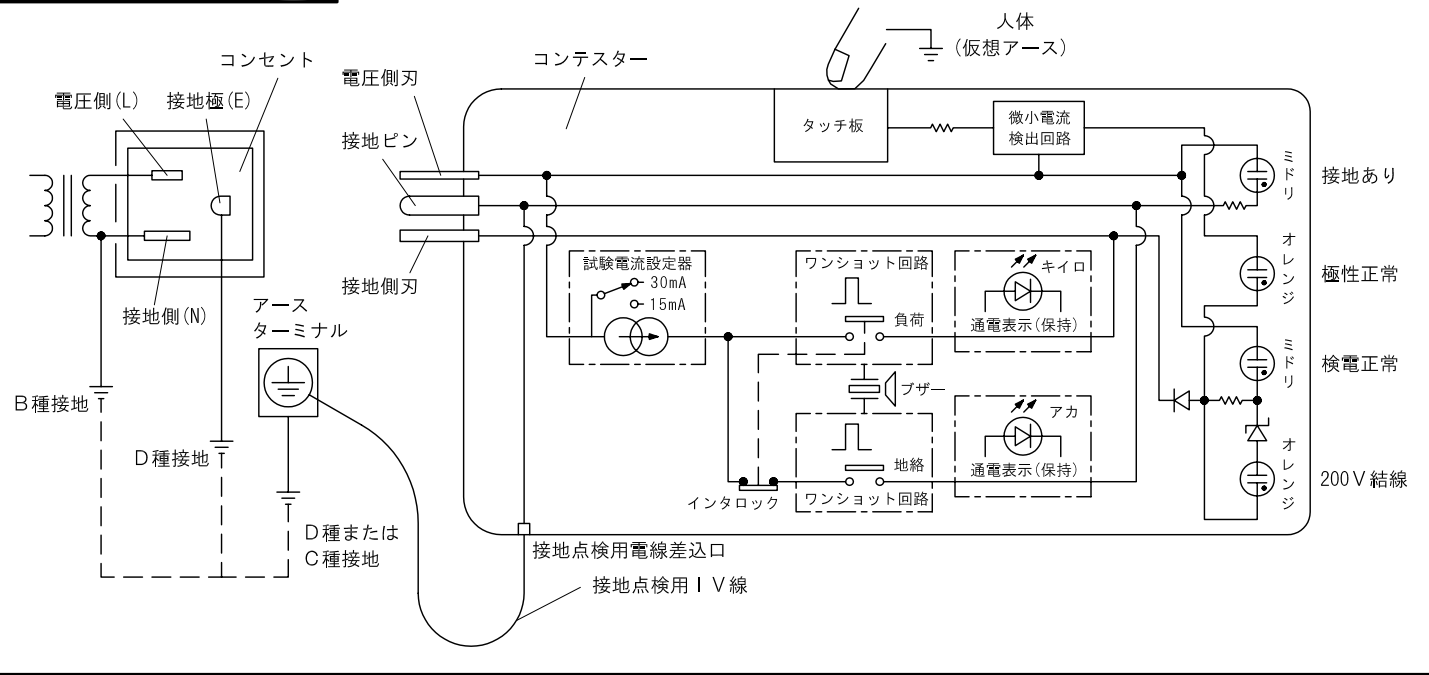
JIMBO

ELCBトリップ式 N-E逆接続判定機能付配線検査器 コンテスター JCT-3

本製品を正しくご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。



回路ブロック図



コンセントの配線状態とランプ表示

コンセントの配線状態		ランプ表示 (○ = 点灯、◐ = 点滅、● = 消灯)			
		200V結線	検電	極性	接地
1	100V結線・極性正常・接地有	●	○	○(1)	○(2)
2	100V結線・極性正常・接地無	●	○	○(1)	●
3	100V結線・極性反対(L-N逆)	●	○	●	●(3)
4	100V結線・無極性電路(B種接地無)	●	○	※(4)	※(4)
5	200V結線	◐(5)	○	※	※

※ ランプ表示は不定(点灯~薄暗く点灯~消灯)となります。

- タッチ板に触れた状態で点灯すれば極性正常です。
(厚底の靴等で人体が大地から絶縁された状態では、極性ランプの表示が暗くなる場合がありますが異常ではありません)
タッチ板に触れていないときは消灯状態となります。
(極めて僅かに発光している場合があります)
- 接地極の無い「アースターミナル付コンセント」の場合、接地点検用IV線を点検箇所へ接触させていない状態では点灯しません。
- 極性が反対の場合には接地有無の判定は出来ません。
- 無極性電路(非接地配線方式)の場合、接地極またはアースターミナルの接地有無の判定は出来ません。
- 200Vランプが点滅した場合は200V回路に接続されています。分岐回路を確認してください。

ご注意
2PEまたは2P+ETコンセントの負荷および地絡試験を行う場合には左記表内の「コンセントの配線状態-1」を、2Pコンセントの負荷試験を行う場合には同表内の「コンセントの配線状態-2」のランプ表示を示していることを確認してください。
ネオンランプが正しい配線状態を示していない場合には負荷および地絡試験の判定を正しく行えません。
ランプ表示のみではN-E誤配線判定は出来ません。

ご注意とお願い 安全にご使用いただくために必ずお守りください

⚠	使用電圧を守って使用してください。 対地電圧150Vを超える電路には絶対に使用しないでください。 感電や故障のおそれがあります。	⚠	内部に電子部品を使用しています。 落としたり強い衝撃を与えないでください。 故障の原因になります。
⚠	使用中にブザー音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、ただちに使用をやめてください。 感電や発熱、または故障のおそれがあります。	⚠	分解・改造の禁止 感電や発熱、けが、または故障の原因になります。
⚠	浴室、洗面所および屋外など水のかかる場所・多湿の場所では保管及び使用はしないでください。 防水構造ではありません。感電や故障のおそれがあります。	⚠	濡れた手で使用しないでください。 感電や故障のおそれがあります。
⚠	本体の汚れ落しには、化学ぞうきん、シンナー、洗剤などを使わないでください。変形や故障の原因となります。 やわらかい布でふき取ってください。	⚠	直射日光の当たる場所や暖房器具のそばなど、温度の高くなる場所では保管及び使用はしないでください。 本体の変色、変形等の原因となります。

特徴

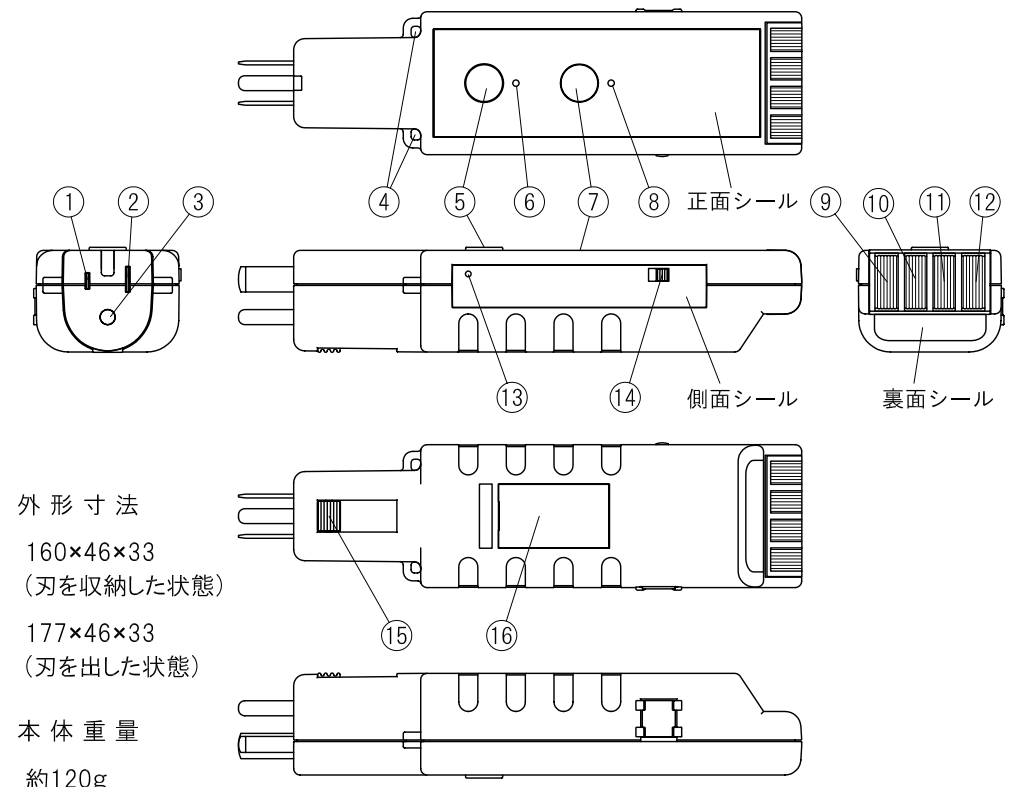
- コンテスター「JCT-3」は、住宅用屋内電路など、主幹ELCBのあるコンセント回路の自主検査/完成検査に特化した、以下の検査項目を迅速確実にチェック出来る配線検査器です。
- 活線状態の電路にて、コンセントの通電・極性・配線を一括して検査。
- 接地極付/アースターミナル付コンセントにあつては、中性線(N)と接地線(E)の誤配線も検出。
- 施設されている高感度形ELCB(漏電遮断器)の感度電流に合わせて試験電流30mAと15mAが選択可能。
- 電池レス設計により、乾電池も充電も不要。
対象電路が本設電源を受電していれば、本器のみでコンセントの配線検査が行えます。
(仮設電源による検査では、電源極性が正しくない場合があります)

仕様

適用電路	高感度形ELCBを備えた、対地電圧150V以下の低圧電路
適用電気方式	単相2線式100V、単相3線式200V 50/60Hz
使用周囲温度	-10℃~40℃
絶縁抵抗	3MΩ以上(充電部-タッチ板) 100MΩ以上(上記を除く充電部-外郭間)
耐電圧	AC1500V(充電部-外郭間)

各部のなまえ

1	電圧側刃
2	接地側刃
3	接地ピン
4	ストラップ取付口
5	L-N負荷ボタン
6	負荷ランプ(LED)
7	L-E地絡ボタン
8	地絡ランプ(LED)
9	ネオンランプ
10	200V結線
11	検電
12	極性
13	接地点検用電線差込口
14	試験電流切替スイッチ
15	押しボタン
16	タッチ板

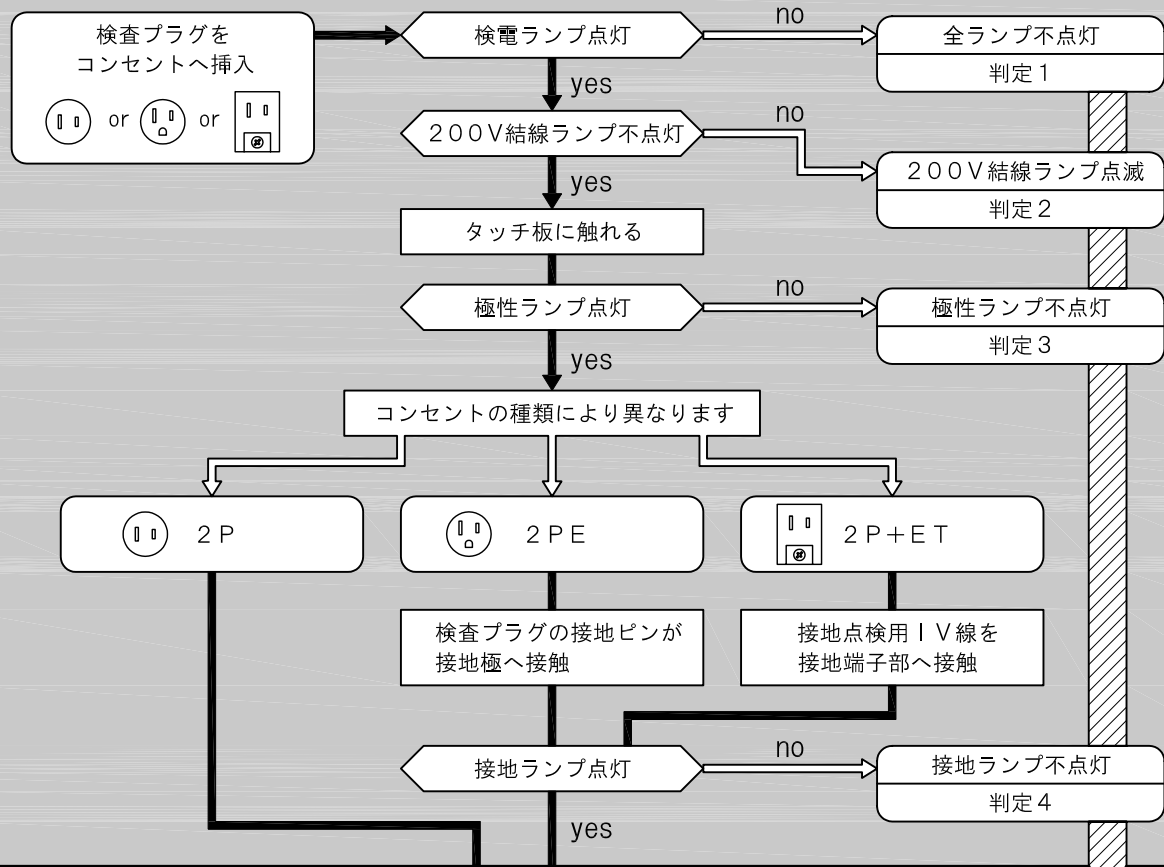


外形寸法
160×46×33
(刃を収納した状態)
177×46×33
(刃を出した状態)

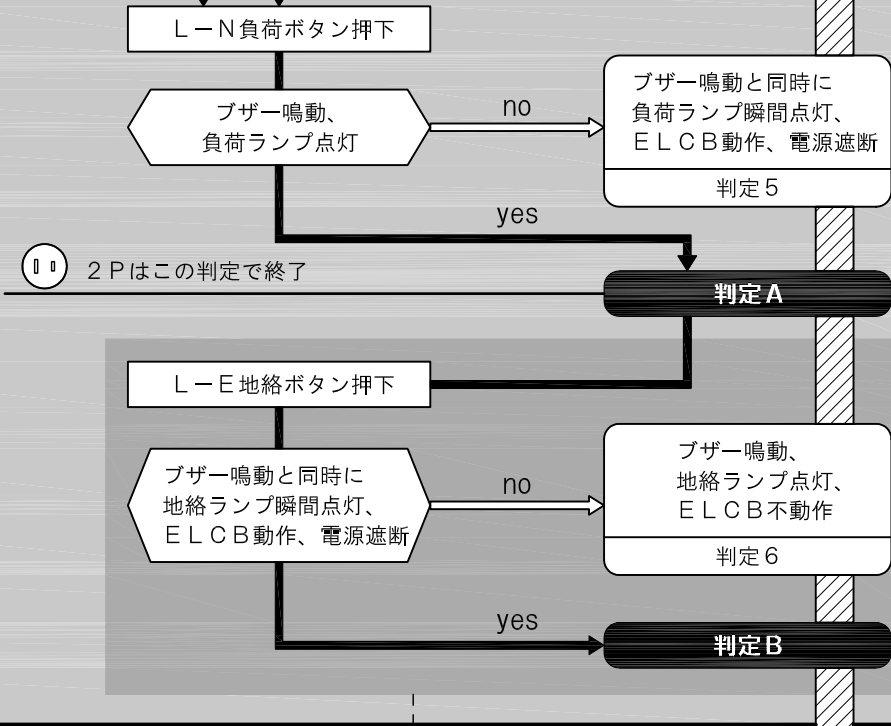
本体重量
約120g

⑦「地絡」ボタンは不要動作(誤操作)防止のため、押しボタン高さをボディ面とフラットに設定、⑤「負荷」ボタン操作後に押したときのみ反応します。

使用手順 1



使用手順 2



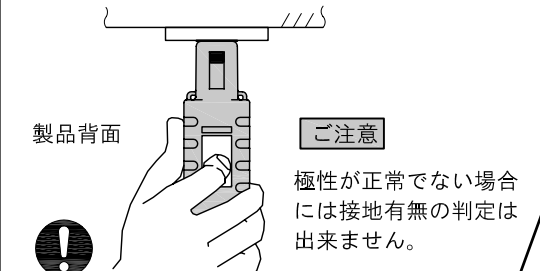
同一住戸（ELCBが分電盤の主幹ブレーカーにのみ設定）では、地絡試験で正しくELCBが動作することを確認出来れば、以降の地絡試験を省略出来ます。（100V回路の場合）
（ELCB復帰操作を省略し、試験のスピードアップが図れます）
分電盤の主幹ブレーカーと分岐ブレーカーの両方にELCBが設定されている場合、試験電流は分岐ブレーカーの定格感度電流に設定します。
（不必要に地絡電流を多く流すと、上位の幹線／引込口遮断器を動作させてしまう虞がある）
地絡試験後、分岐ブレーカーのみ動作すれば感度電流値の地絡保護協調が取れています。
この場合、試験回路の分岐回路毎に地絡試験まで実行する必要があります。

判定 1～6の場合には電源または配線の接続をご確認ください。

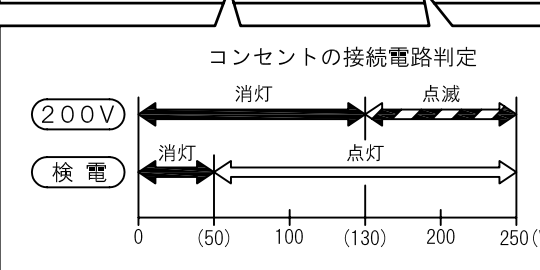
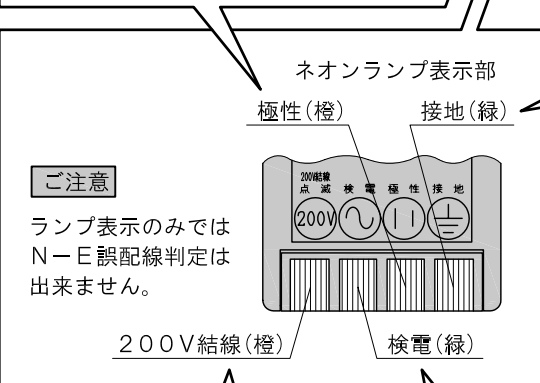
1	電圧未検出
2	電圧約130V以上
3	L-N誤配線
4	E未接続
5	N-E誤配線
6	ELCB動作不良またはELCB未接続
A	L-N配線正常
B	L-E配線正常、ELCB動作正常

検査プラグの挿入-ネオンランプの表示確認

タッチ板に触れた状態で点灯すれば極性正常です。タッチ板に触れていないときは消灯状態となります。（極めて僅かに発光している場合があります）

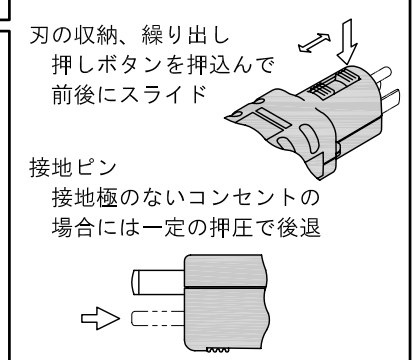
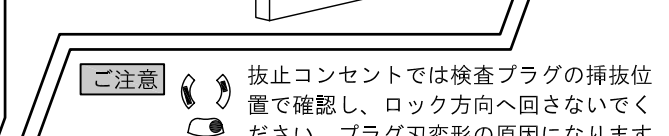


人体が接地電位に近いことを利用し、タッチ板を通じて0.1mA未満の微弱な検知電流が流れます。対地電圧150V以下の回路では感電等のおそれはありませんが、これを超える電圧の回路には使用しないでください。



上記ランプは、単相2線式/単相3線式電路に於けるコンセントへの接続電路を判定する目的のものです。供給電圧測定には、所要の確度を持つ電圧計をお使いください。

検査プラグを挿入し、製品下部のネオンランプ表示状態を確認



2P+ET(アース付)コンセントの場合
ⅠV電線(接地点検用ⅠV線)を使用し
接地点端子に接触、点灯すれば接地有

2PE(接地極付)コンセントの場合
検査プラグの接地ピン接触で
点灯すれば接地有

電線の接続方法
・ストリッパゲージにあわせて被覆を剥き、接地点検用電線差込口へまっすぐに挿入。導電部露出のないようしっかりと奥まで押し込んでください。接地点検箇所への接触端は2～3mm程度被覆を剥きます。
・取り外しの際は、挿入方向と逆向きにまっすぐに引き抜きます。



ⅠV電線(接地点検用ⅠV線)使用上のご注意

- 検査プラグをコンセントに挿入した状態では接続、取り外しは行わないでください。また、接続電線を取扱う際には被覆部を持ち、導電部には絶対に触れないでください。
- 電線は金属疲労(挿抜、屈曲の繰り返し)により破断する場合があります。電線差込口内部に破断片が取り残された場合には除去することが出来ません。予防のために以下を必ずお守りください。
 - ⅠV電線はご使用の都度接続してください。「接地点検用電線差込口」にⅠV電線を差したまま、製品本体にⅠV電線を巻き付けて使用しないでください。
 - 接続の際には必ずストリッパを行い、導体に傷や曲がりの無いことを確認してください。
 - 接続電線は差込口縁部で曲げずに差込口より20～30mm以上離れた位置より曲げを行ってください。

電流設定と負荷および地絡試験

2Pの場合には検電・極性の2つのランプ、2PEおよび2P+ETの場合には検電・極性・接地、3つのランプが点灯することを確認してから試験操作を行ってください。いずれかのランプが点灯しない状態では正しい判定を行えません。但し、極性ランプについてはタッチ板に触れ点灯する状態であれば、ボタン操作時には点灯、消灯は問いません。

試験電流は30mAまたは15mAに設定出来ます。
・通常は30mAでお使いください。
・分岐回路に15mA感度のELCBが設置されている場合、試験電流を15mAに設定することで主幹ELCBをトリップさせずに試験出来ます。

ご注意
本器はELCBのトリップ動作を利用した配線検査器です。漏電遮断器の動作時間や感度電流を測定する機能はありませんので、特性試験を要する場合には所定の特性試験装置をお使いください。

! ELCBのトリップ動作により電源遮断が行われても支障のない回路であることを、必ず確認の上、試験操作を行ってください。

負荷ランプ(黄)

負荷試験 ボタン押下で0.3秒、L-N間へ試験(負荷)電流が流れます。ブザー鳴動と同時に負荷ランプ点灯(負荷ランプは点灯を保持) L-N配線正常
ブザー鳴動と同時に負荷ランプ瞬間点灯、ELCBトリップ動作、電源遮断 N-E誤配線

地絡試験 ボタン押下で0.3秒、L-E間へ試験(地絡)電流が流れます。ⅠV電線(接地点検用ⅠV線)接続時には接続電線を通じ地絡試験電流が流れます。導電部には絶対に触れないでください。
ブザー鳴動と同時に地絡ランプ瞬間点灯、ELCBトリップ動作、電源遮断 L-E配線正常
ブザー鳴動と同時に地絡ランプ点灯、ELCB不動作(地絡ランプは点灯を保持) ELCB動作不良またはELCB未接続

地絡ランプ(赤)

ご注意 負荷試験未実施状態では地絡ボタンは反応しません(誤操作防止機能)。200Vランプ点滅時には負荷、地絡ボタンは操作無効となり試験は行えません。